

会費 正会員 20,000円 ・ 一般会員 10,000円 ・ 賛助会員 5,000円

川で活動をしている皆さん、これから川で活動しようとしている皆さん、子どもたちをはじめ、多くの人々に川のファンになってもらうため、RACは川の指導者を育て、川で活動する人たちを守る保険の適用を受けられるようにしたり、その他、活動の需要・自立化に向けて、皆さんのお手伝いをさせていただきます。是非、このRACに参加し、そして活用してください。

RAC お気軽にお問い合わせください

各地で開催される講座の案内や参加のお申し込み、出張講座の開催依頼やご相談、RACへの入会のお問い合わせなど、どんなことでもお気軽に事務局までご連絡ください。

NPO法人 川に学ぶ体験活動協議会 事務局

〒110-0001 東京都中央区谷中3-6-16 大輪ビル3F・A室
TEL 03-5832-9841 FAX 03-5832-9842
URL <http://www.rac.gr.jp> E-MAIL rac@rac.gr.jp

RAC RACは川での青少年教育「川育」を推進しています

川の指導者が地域それぞれの川の特徴を活かし、子どもの生きる力や自然環境とのつながりなどを体感する等、子どもの発達に役立つ様々なプログラムを展開しています。RACではこの川で古く新しい教育スタイルを総称して「川育」（かわいく）として、川でのサマーキャンプや学校教育等を通じて、川を活用した青少年活動を積極的に進めています。

RAC サマーキャンプ



RAC RACグッズの紹介

RAC 子供用ライフジャケット

RAC01よりやや小さい子供用フリースタイズモデル。大人数子供から小学生低学年程度の子どもまで十分対応できます。水切れが良くなるよう下部にメッシュ生地を採用し、股下ベルト、ホイッスル、ホイッスル入れ胸ポケットも標準装備。

規格:子供用フリースタイズモデル
カラー:ブルー×イエロー
淨 重 量: 5kg



RAC スローロフ

スローロフは川での救助活動において最も役に立つ道具です。川遊びや川での水生生物観察会等での川の体験活動用に使いやすい、股差タイプ。ベルト部分はクイックリリース入替え付きです。また、ロープが23mあるため、より遠くまで届く仕様になっています。

ロープ長さ: 20 m ロープ直径: 1.0 mm
ロープ素材: ポリプロピレン
ロープ破断強度: 971.692 kg
総重量: 7.50 kg
バックサイズ: 幅25.5cm / 直径 11 cm



※RACホームページよりご購入出来ます



川に学ぶ体験活動の理念

川に学ぶ体験活動は、
感動する心を大切にし、
川と遊んで学ぶ楽しさを伝えます。

川に学ぶ体験活動は、
川への理解を深め、川を大切に
する気持ちを育てます。

川に学ぶ体験活動は、
ゆたかな人間性、心のかよった
人と人のつながりを創ります。

川に学ぶ体験活動は、
人と川が共存する文化・社会を
創造します。

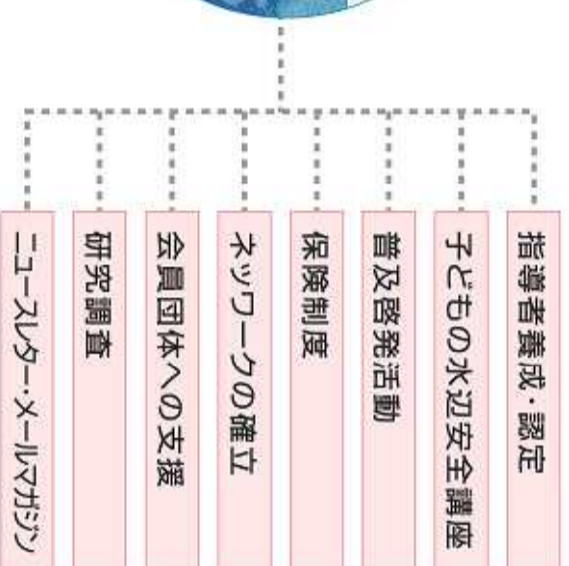
川に学ぶ体験活動は、
川の丸、活動にともなう危険性を
理解し、安全へ意識を高めます。

川に学ぶ体験活動協議会って どんな団体？

全 国各地の川で活動するNPO法人や市民団体で構成される協議会です。
川で活動することを通して、人間性の回復や環境の保全についての認識を広げることを目的としています。

川に学ぶ体験活動協議会って どんな活動をしているの？

川での体験活動を支援・推進するあらゆる活動を、時代に合わせて総合的に展開します。
特に、安全に楽しく体験活動を引率する「指導者養成」や「セルフレスキュー～安全は自分で確保するもの」の観点から危機管理を学ぶ「子ども水辺安全講座」などの教育活動に力を入れています。



会員団体への支援

情報・機材などの提供
川に関する様々なノウハウの提供や講師の派遣、機材の貸出しなどの支援を行い、必要に応じて活動を援助していきます。

活動の常設・自立化への支援
会員団体が自立し川での活動を継続していくための支援をしています。

普及啓発活動 川に学ぶ体験活動全国大会を開催します



年1回、全国規模の大会を開催していきます。
大会では、川に学ぶ体験活動の意義を改めて確認し、全国の川で活動をする人達と交流を深める場を提供し、実際に川活動に参加し川に親しむきっかけをつくります。

指導者養成 川で楽しく安全に遊び学ぶための指導者を養成します

- 自然の中で遊ぶには危険はつきもの。安全で楽しい活動を普及させるためには、川の危険性を正しく理解し伝えられるスキルを身につけた指導者が必要です。
- 指導者による的確なリードにより川に学ぶ体験活動を普及させるため、川の指導者を養成しています。

RACUター養成講座の科目と履修時間数

必修科目	必修時間数	合計
1 川に学ぶ体験活動の理念	1	1
2 川という自然の理解	1	2
3 川と人、社会、文化の関わり	1	3
4 安全対策について	1	4
5 川に学ぶ体験活動の基礎技術	1	5
6 対象となる参加者のことを知る	1	6
7 川に学ぶ体験活動の指導法	1	7
8 プログラム作りと基礎知識	1	8
合計	8	13

プログラム紹介 (4)安全対策について

目 的 川に学ぶ体験活動での安全対策、安全管理について知る
緊急処置法の基本的な方法を実習・経験する
指導者の責任について、またその範囲について知る

講 義 (1時間以上)

- 川に学ぶ体験活動の意義と安全管理について
- 緊急時に体験参加者について
- 指導者の3つの責任について
- 川に学ぶ体験活動の責任(1時間以上)

実 習 (各2時間以上)

- 実習場所を確認して、実際に起こりうる危険な状況について話し合う
- 危険を認識し、共有し、その対策をまとめる
- 各参加者における具体的な対策から、共通することについて話し合う

実 験 (1時間以上)

- 緊急処置の重要性を知る
- 1級以上の処置について体験する

川の指導者認定システム

各講座修了後、定められた期間の活動経験を積むとプログラムアップのための講座が受講できます。認定プログラムに応じて、引率できる人数、活動内容、活動フィールドが広がります。



子ども水辺安全講座



「セルフレスキュー～安全は自分で確保するもの」の観点から、危機管理の基礎知識を体験学習を通して学ぶ、子どもを対象とした講座を行います。安全管理は、指導者だけが行うものではなく、参加者全員が加わり行うものであるという意識を広め、より安全な活動を実現していきます。

子どもの水辺サポートセンターとの連携

水辺での環境学習や体験活動を支援する「子どもの水辺サポートセンター」の連携により、資機材の貸出しや子どもの水辺安全講座の実施などを行い充実した支援をしていきます。また、相互交流により、川で活動する人々のネットワークを広げていきます。
子どもの水辺サポートセンター <http://www.mizube-support-center.org>

付加資格講座



- ① RACU水辺のリスクマネジメント講座 (半日程度)
～ビデオ教材や判例等を活用し、机上で安全管理のワークショップを学習します。
- ② RACU水辺のレスキュー講習 (1日程度)
～身近なものの救助法やスローロープでの救助技術等を学びます。
- ③ Eポート指導者講習 (1日程度)
～Eポートの基本的な取扱い方法や集約技術等を学びます。

河川整備基金事業等の一環として、RACU指導者養成講座を開催する際に、RACUより支援を受けることができます。詳しくはRACU事務局へお問合せください。